

令和8年1月30日

令和7年度の学校評価アンケートについて

1 アンケートの実施時期、対象（11/1時点：675名在籍）

No.	対象	実施期間	回収率	実施方法
1	生徒	R7.11.10～R8.1.23 (前年度 R6.11.21～R6.1.25)	40名(70) 5.9%(9.8)	無記名 (検索可)
2	保護者	R7.11.10～R8.1.20 (前年度 R6.11.16～R6.12.7)	32名(81) 4.7%(11.7)	無記名
3	教職員	R7.11.21～R8.1.23 (前年度 R7.11.21～R8.1.23)	17名(17) 100%(100)	無記名 (検索可)
4	地域	R8.11.1～R8.11.30 (前年度 R6.11.2～R6.11.30)	13名(11) 算出不可(同左)	無記名

(1) 回収率について

昨年度11月1日現在の在籍生徒数は712名で、今年度同時期は675名である。今年度Formsによるアンケート回収は3年目であった。紙の時代から比べて大きく回収率が低下（概ね1/3）している現状は変わらない。生徒と保護者について、令和7年中に調査を開始したが、年明けに再度呼びかけて上記人数まで回答を得た。

回収期間を延長したり、担当者から複数回呼びかけたりしたが、最終的には昨年度と比較して回収率は数パーセント減少という結果であった。保護者の回収方法については、保護者コミュニケーションシステムでなく、moca上から呼びかけて、Formsに書込んで頂いたもので状況はほぼ2年前に戻っている。発想を変えて、少人数の回答しか得られなかったとしてもその回答は貴重なご意見として受け止め、サイレントマジョリティの存在を意識し、日常の取組の中で生徒らの声を聴きながら現状の認識・把握と状況改善の検討を考えるという姿勢で引き続き取組んでいきたい。

次年度に向けた課題として、生徒アンケート（保護者アンケート）の回収率の改善がある。評価委員会最終回の提言を受け次年度には、アンケート回収時期に各クラス担任による回収促進活動と呼び掛け、QRコードを紙配布する等に取り組む。

(2) 地域アンケートについて

昨年度開始した取り組みである。対象者は①多摩都市モノレール「泉体育館」駅利用者（母集団の規模は不明）②学校運営連絡協議会委員(4名)、NPO法人「育て上げネット」(3

名)、学習支援員(明星大学心理学部心理学科学部生・院生＋主婦＋元高校校長)(13名)から、回答をお願いした。今年が多摩モノレール泉体育館駅に QR コードを表示した A0 判ポスターを掲示させて頂き、地域住民の方に協力を呼び掛けた。

(3) 今年度の生徒向けアンケートの改良について

従来のアンケートの内容を概ね踏襲しつつ、1 番目の設問「あなたにとって通信制課程は、他の課程(全日制や定時制)よりも自分に合っており、勉強しやすい環境だと思いますか。」については、回答者が困惑する可能性のある内容を含んでいるため、他と比較したり

「自分に合っているか」という問い方でなく、本校の学び方についてポジティブにとらえられるように文言に配慮し書き換えた。

また、本校の学習システム全体について回答者が難しいと感じていることがあれば、その内容をスクリーニングできるような設問を新設した。